



## 発刊にあたって

仙台南地区租税教育推進協議会長  
山元町教育委員会

教育長 森 憲 一

本年度の仙台南地区租税教育推進協議会の主な事業が、「租税教育に関する研究発表会」を締めくくりとして大きな成果を挙げて終了できましたことに、関係者の皆様方に対しまして心より感謝と御礼を申し上げます。

平成23年3月のあの大地震によって、平成23、24年度の2ヶ年にわたり研究発表会等の主要事業を開催することができない状況でありましたことは、学校現場はもちろんのこと、本協議会にとりまして大変辛く苦難の時期でありました。

しかし、仙台南税務署をはじめとする関係者の皆様方の力強い熱意により見事に復活し、意義ある租税教育の推進にいよいよ拍車が掛かってまいりました。そして、2年目の本年度も多く参加者のもと研究発表会を開催することができましたこと皆様とともに喜びを分かち合いたいと存じます。

併せて、本協議会2市2町の各分野の復興・復旧事業も加速を増して展開されており、被災された方々にも少しずつ笑顔と喜びが戻ってきつつありますことは誠に嬉しい限りです。一方、消費税等に係る議論も多くのところ白熱している状況にあります。

そのような中、昨年11月12日（水）に岩沼市中央公民館において「租税教育に関する研究発表会」が開催されました。各発表者は、税金の果たす役割の理解や、租税への興味・関心を高めるための指導の工夫などを研究主題として、児童生徒の意識調査等を基に実態を把握し、さらに税理士や税務署の方々の協力を得ながら租税教室を開催するなど、果敢にテーマに迫る授業実践を展開し、まとめあげてきたものです。

特に、今回は、小・中学校での租税教育の在り方や、租税教育の実践の方向性が各々の実践発表から明らかになり、児童生徒が必要感を抱いて成長し大人への実践力を図ることなども意識化されており、内容的にも広がりや深まりのある実践報告がなされたところです。改めて発表された先生方に敬意を表するところでございます。

本書には、4校の素晴らしい実践活動が掲載されておりますので、今後租税教育に関する指導資料として大いに活用していただければ幸いです。

結びに、今回の発刊に当たりまして、発表していただきました4校の先生方のご尽力を始め、仙台南税務署の皆様のご配慮とお力添え、そして多くの税務関係者の方々のご支援に心から感謝を申し上げ、挨拶といたします。

平成27年3月